

将来担う技術者へ

工業高校生と協働で橋梁を点検

県道路環境課は、2019年度から県内の工業高校生を対象に協働で橋梁点検に取り組んでおり、今年度は4校に拡大し実施する。今年度最初の橋梁点検が27日、黒沢尻工業高校土木科3年生を対象に行われ、県から橋梁点検業務を受託した㈱昭和土木設計の職員らとともに、北上市や奥州市の4橋梁を協働で点検した。今後、今回の現地点検をもとに健全性診断し、結果を県に報告する予定。同課の藤島謙維持担当課長は「協働での橋梁点検を通し、インフラメンテナンスに対する興味や関心が高まれば」と話し、将来を担う技術者となることを願った。

高校生との協働に 担い手の確保・育成
よる橋梁点検は、道につながるために企
路インフラメンテナンス。これまで、盛岡
ンスの必要性や重要 工業高校土木科や久
性の理解向上と、自 慈工業高校建設環境
ら実施した点検が県 科の生徒らを対象に
民の安全な暮らしを 実施。今年度は、両
支えるという土木の 校に加え黒沢尻工業
魅力を感じてもらっ 高校と一関工業高校
ことで、土木業界の の土木科の4校に拡



橋梁点検車からひび割れなどを確認

県道路環境課・
黒沢尻工業高校土木科

ドローンなど新技術活用

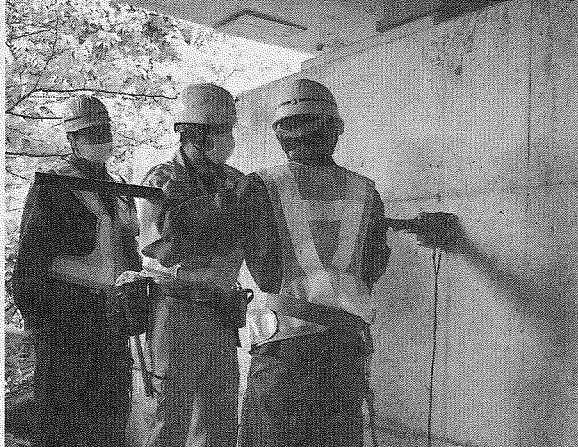
大する。

橋梁点検に参加したのは黒沢尻工業高校土木科3年生で橋梁点検班に所属する5人。昭和土木設計の職員6人らのサポートで主要地方道花巻平泉線の瀬畑大橋(北上市和賀町)と一般国道107号・菱内橋(同和賀町)、同・古城場2号橋(同川岸)、同456号の中島橋(奥州市江刺)の4橋をドローンな「クッター」やクラックなどの新技術を活用しスケールを使いながら点検した。

瀬畑大橋では、橋は、全方向衝突回避梁点検車で主桁や縦センサーを有する小桁、支承、床版を確型ドローンで点検。認するとともに、打ドローンで撮影した音検査器「ブルード画像を基に損傷図を



ドローンによる点検も実施



打音検査器も使用し点検

ひび割れを見つけることができた。今回の点検を通し、メンテナンスについてより深く学びたいと思った」と決意を新たにした。

今回の点検業務で監理技術者を務める昭和土木設計の山村浩一さんは「生徒自らが点検することで、メンテナンスに興味を持ってもらえば」と話している。